

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告

春日井市立 八幡小学校

事業テーマ	人とかかわれる児童の育成 ～みんなが行きたくなる学校をめざして～	
取組の目的	児童にとって学校生活の基盤となるのは友達や教師そして地域との人間関係づくりだと考えています。本校は「かかわり合い」をテーマにSST(ソーシャルスキルトレーニング)などを取り入れながら、「自分の考えをもち、伝え合いながら学びを深める児童の育成」を目指しています。	
区 分 (○印を付ける)	新規事業・ <u>継続事業</u> (総事業年数 3年間、2年目)	
事業名	事業内容	実施時期
・かかわり大作戦 「やわタイム」(SST) ・SST 研修 ・「かかわり」をテーマとした授業研究	- 外部専門家の招聘 (研修会の開催、指導助言) - 授業研究方法の工夫 - 授業分析 - 外部専門家による指導助言 - 教室環境・校内環境の整備(掲示物等)	通年 通年 通年
やわタイム     月に2回業前の時間を使い「やわタイム」を実施しています。SST(ソーシャルスキルトレーニング)を通して人とかかわる力を高めることを目的としています。		

SST 研修



4/18・6/27・9/26・1/23 「かかわり」を目的にした授業研究のため名古屋女子大学教授堀部要子先生をお迎えし、SSTについて研修を行いました。また、各学年の公開授業を行い、授業後には協議会を開きご指導いただきました。

「かかわり」をテーマとした授業



取組みの成果

2年間の取組みで、授業の中で人とかかわることを意識した姿が見受けられるようになってきました。教師の「かかわり」への意識が高くなり、SS を意識したペアや小グループでの話し合い活動の場面を設定するなど、多くの学級で SST の取組みによって培ったスキルを取り入れた実践がたくさん見られました。また、それによって自分の考えをもち、意見を述べられる児童がさらに増えてきました。

行事を通して子どもたち同士がかかわりを深め、よりよいものにしようとする姿も多く見られました。以前と比べ相手の気持ちを理解し、共感しようとする児童の姿が見られるようになり、コミュニケーション能力の向上につながりました。また、友達と協力しあい課題を解決するなど対人関係の改善もみられるようになりました。

来年度はこの取組みの3年目となります。次年度は、更に特別な支援を必要とする児童理解を深め、2年間の取組みで培われてきた児童の「かかわる力」を探究的な学習を通してさらに育んでいきます。